

第3回船橋市立金杉台中学校・御滝中学校統合準備会

書面会議の開催方法等について

1. 会議の検討事項について

	報告事項等	資料	審議内容
①	金杉台中学校の統合までの間の入学に関する保護者説明会の開催結果について	資料1 資料2 補足説明資料	資料のとおりご報告いたします。 ご意見・ご質問等ありましたらお願いいたします。
②	その他の検討状況について	資料3	
③	令和3年度の検討事項について	資料4	

※資料の詳細については、裏面の送付資料一覧にてご確認ください。

2. 質問票の提出について

同封の「質問票」に氏名、ご意見・ご質問等の有無、「あり」の場合その内容を記入いただき以下のとおりご提出ください。

質問票の提出をもって会議への出席といたしますので、「なし」の場合も提出をお願いいたします。

質問票の紙面による提出の代わりにメールによる提出も受付いたします。

メールの本文に①氏名、②ご意見・ご質問等の有無、③「あり」の場合はその内容、を入力し、教育総務課のアドレス kyosomu@city.funabashi.lg.jp 宛てにお送りください。

(1)PTAの皆様

紙面による提出の場合は、2月24日(水)までに、お子様を通じて担任へ、または、直接、学校の事務室までご提出ください。

メールにより送信いただく場合は、3月1日(月)までをお願いいたします。

裏面もご覧ください

(2)学校(校長・教務主任)の皆様

PTA代表の皆様への質問票の提出がありましたら、学校分と併せて、3月1日(月)の集配にて教育総務課にご提出ください。

3. ご意見・ご質問等に対する回答等について

いただいたご意見・ご質問等を事務局から会長にご報告し、その内容に応じて会長から事務局・所管課へ回答等を求めます。

ご意見・ご質問等の内容及びそれらに対する教育委員会の考え方や回答等は、3月中旬までに会員の皆様へお示しします。

4. 次回の統合準備会について

今年度の統合準備会は本書面会議の開催が最後となります。次回の統合準備会は令和3年度に開催を予定しております。

PTAの皆様におかれましては、役員活動に加え統合準備会にご協力いただきありがとうございました。次年度の会員については、改めて各学校を通じてご依頼申し上げます。学校及び教育委員会においては人事異動等に伴い、後任が引き続き役目を果たしてまいります。詳細については、開催方法を含め、新年度に改めて事務局からご連絡いたします。

以上

【送付資料一覧】

事務連絡 第3回船橋市立金杉台中学校・御滝中学校統合準備会 書面会議の開催方法等について

質問票 第3回船橋市立金杉台中学校・御滝中学校統合準備会 質問票

資料1 金杉台中学校の統合までの間の入学に関する保護者説明会の開催結果について

資料2 船橋市立金杉台中学校・御滝中学校 統合準備会たより第3号

補足説明資料 資料1・2について

資料3 その他の検討状況について

資料4 令和3年度の検討事項について

質問票返信封筒 (1枚) ※質問票を学校(教育総務課)に提出する際にお使いください。

【お問い合わせ】<金杉台中学校・御滝中学校 統合準備会事務局>
船橋市教育委員会 管理部 教育総務課 企画係 吉村
電話:047-436-2802 FAX:047-436-2808
メール:kyosomu@city.funabashi.lg.jp

第3回船橋市立金杉台中学校・御滝中学校統合準備会

質問票

氏名 _____

お送りしました会議資料について、ご意見・ご質問等がありましたら以下にご記入ください。

また、質問票の提出をもって会議への出席としますので、「なし」の場合もご提出をお願いいたします。

紙面による提出の代わりにメールによる提出も受付いたします。

メールの本文に①氏名、②ご意見・ご質問等の有無、③「あり」の場合はその内容、を入力し、教育総務課のアドレス kyosomu@city.funabashi.lg.jp 宛てにお送りください。

ご意見・ご質問等の有無

あり ・ なし

※「あり」の場合、下欄に記載

ご意見・ご質問等の内容

・資料番号、ページなど

・内容

※資料に対するご意見・ご質問等のほかに、統合準備会にて情報共有すべき事項、今回初めての試みとなる書面会議の開催についてのご感想などありましたら、ご記入ください。

※書ききれない場合は、裏面もしくは別紙等(様式自由)にご記入ください。

金杉台中学校の統合までの間の入学に関する保護者説明会の開催結果について

1. 開催日時・場所

令和2年10月4日（日）

午前の部：10時00分～11時40分、午後の部：13時30分～15時00分

金杉台小学校 体育館

2. 説明・対応者

教育委員会管理部長、教育総務課長、施設課長、学務課長、指導課長、保健体育課長、総合教育センター所長、総合教育センター教育支援室長

3. 参加者数

計 24人 午前の部：17人、午後の部：7人

4. 内容

（1）金杉台中学校の統合までの間の入学等対応策について

統合までの間の入学等対応策としてまとめた①入学する中学校、②制服・学用品等、③統合に向けた生徒の交流、について内容を説明しました。また、これまでの経緯として、①統合を決定するに至った理由と統合の時期を含めた統合方針の決定、②教育委員会と統合準備会における諸課題の整理や、7月に行った進学先に関するアンケートでの当事者の意向を踏まえて決定した入学等対応策であることを説明しました。

（2）進学先に関するアンケート集計結果について

先述のアンケートの自由記述に寄せられた「統合までの間の入学等対応策案」への疑問や、統合への不安、疑問、ご意見等に対する教育委員会の考えをまとめ、資料により各担当課から説明しました。

また、金杉台中学校校長と御滝中学校校長から、教育委員会からの説明に対する補足事項及び学校の様子や統合に向けた対応等について説明がありました。

（金杉台中学校校長から）

- ・中学校の3年間は人生を左右すると思うので、生徒数の少ない環境でも、子供たちの活動を盛り立て、どのようにしたら活躍できるか、努力の大切さを伝え、可能性を伸ばせられるよう、日々実践している。

- ・令和 3 年度、4 年度に入学する方は御滝中学校の制服などを購入して入学してほしい。
- ・在校生にも統合を控えていることやこれから入学する生徒は異なる制服を着用することなど、繰り返し説明をして理解をさせたい。
- ・不明な点があれば実際にお話をすることもできるので、お知らせいただきたい。

(御滝中学校校長から)

- ・よりよい統合ができるよう、準備や取組を進めていき、校長として子供たちが安心して生活できるあたたかい学校づくりをこれまで以上に進めたい。
- ・子供たちにも統合を伝え、令和 5 年度から御滝中学校と金杉台中学校の生徒が一緒になって新たに歩いていくという姿勢を大切にしたい。
- ・アンケートには心配や不安な思いが寄せられたが、現在の御滝中学校の子供たちは落ち着いた雰囲気で行事の実施や部活動の練習に励んでいる。心配なことがあれば学校としてしっかり対応していきたい。

(3) 令和 3 年度中学校入学までの今後の流れ

次年度の入学に向けた日程等について説明しました。

- ①10月中旬：入学先の意向調査等の実施、11月末にその結果を通知
- ②1月中旬：入学通知書の送付（通学指定校変更申請書を同封）
- ③1月下旬：入学説明会（御滝中学校 1 月 20 日、金杉台中学校 1 月 22 日）

意向調査の回答で「人数によって金杉台中学校への入学を検討する」と回答された方には個別に連絡すること、また、金杉台中学校入学後でも転校を希望される場合は相談に応じることを説明しました。

(4) 質疑応答

質疑応答では、7 人の方から質疑・意見がありました。

【主な質疑・意見の主旨とその回答】

- ・子供たちへの説明は、誰から、いつ説明があるのか。子供の気持ちを聞いてほしい。
⇒学校から 10 月中に説明できるよう調整をしている。
- ・コロナの感染リスクを下げるため、少人数である金杉台中学校の統合を凍結すべき。
⇒国の少人数学級の動向は注視。統合の凍結は考えていない。
- ・コロナなど様々なことから、金杉台中学校が存続することはあるのか。
⇒令和 5 年 4 月の統合は変わらない。

- ・ コロナの状況を踏まえて少人数の学校を残す学区案を検討してほしい。
⇒金杉台中学校を少人数の学校として残す考えはない。
 - ・ 御滝中学校に対する不安を噂で聞くが、いじめや不登校は実際どうなのか。
⇒いじめはどこでも起きるので起きた時の対応が大事であり、令和元年度の調査ではほぼ解消していることを確認している。令和元年度の調査では不登校の生徒数は1クラス分の人数にもなっていない。
 - ・ 両校にある部活動が同じでも、やり方が違うところはどうなるのか。
⇒今後両校の顧問で調整していくことになる。
 - ・ 統合したあとに、金杉台中学校だった生徒が集まって話ができるような環境は用意してもらえるのか。
⇒学校と検討する。不安であるということは受け止めていきたい。
 - ・ 試験について、御滝中学校の生徒は一部の教科担任の試験を受け傾向がわかるが、金杉台中学校の生徒は統合後、初めて受けることになるので不利、何か配慮はないのか。
⇒教科担任同士でこまめに打ち合わせを行い調整していく。
 - ・ 卒業アルバムは金杉台中学校の在籍中の写真はどうなるのか。
⇒両校で打ち合わせをするが、業者とも相談し今後進めていく。
 - ・ 統合とは、金杉台中学校は廃校となるのか。その場合、廃校の式典は行われるのか。
⇒廃校となる。式典についてはまだ考えていない。
 - ・ 金杉台小学校と小中連携しつつ御滝中学校と実際どれくらい交流ができるのか。
⇒今のところ検討中だが、子供たちにもできることを考えてもらいながら進める。
 - ・ 学校のほうではどのようなサポートをするのか。
⇒少しでも大勢の中に入れるような環境づくりをし、いろいろな場面で話をしていくこと。不安に思う子供たちに話を聞いていくことと、これから交流をしながら具体的に見えてくることに対して対応を考えていきたい。
- ※このほか、制服を統一しないのか、現在の御滝中学校の生徒数や1クラスの人数、国に先行し30人学級をこの地区だけでも実現してほしい、などの質問・意見がありました。

【ご意見等記入用紙の主な意見等】

※説明会後に回収したご意見等記入用紙では、10枚に意見等の記載がありました。主旨をまとめると以下のとおりです。(1枚につき複数の意見等を含みます)

- 統合するのであれば、その後の子供のケアを具体的に対応してください。
- 統合するつもりで制服等購入したあとに、または、入学後に統合が中止になることはないのか心配。
- 子供たちのいじめや仲間外れに対する対策・対応と情報の共有をスピーディーに行ってほしいです。
- 制服はすでに予約・申し込みをし、半年後に入学を迎えるので、詳しく伺えてよかったです。ありがとうございました。
- 情報を確実に周知させたいなら、学校行事にあわせて出向いて、直接説明・意見聴取すべきだと思います。直接保護者とじっくり話し合う機会や場を設けてください。
- 御滝中学校のクラスは何組になる予定か。部活の種類は増える予定があるのか。御滝中学校のくつは白ベースか。
- 質疑応答の時間は正直言ってよくわからない質問ばかりだった。制服が違って、めがねをかけていても、何をしてもいじめはあると思う。その後の対応次第だと思う。子供ベースで考えるのは当然だが、大人の事情で決まることもあると思う。全員に平等なんて無理だと思う。
- 統合に向けて様々な不安が発生しました。子供たちにとにかく丁寧に説明をお願いします。
- 未定が多すぎてよくわからなかった。など

船橋市立金杉台中学校・御滝中学校 統合準備会たより

第3号 令和2年11月発行

船橋市立金杉台中学校・御滝中学校
統合準備会事務局（教育総務課）

金杉台中学校の御滝中学校との統合に向け、本年度から、「船橋市立金杉台中学校・御滝中学校統合準備会」を設置し、準備を開始しています。本号では、統合準備会の会議とは別に、教育委員会が主催しました保護者説明会について報告いたします。

金杉台中学校の統合までの間の入学に関する 保護者説明会を開催しました



10月4日(日)、金杉台小学校の体育館にて午前、午後の2回開催しました。

この説明会は、令和5年4月の統合までの間に金杉台中学校へ進学することとなる現在の小学5・6年生の児童・保護者の皆様を対象として、7月に実施した進学先アンケートをふまえ決定した「統合までの間の入学等対応策」をご説明したほか、同アンケートに寄せられた、在学中に統合となることへの不安や心配事などに対し、現時点で考えている内容を可能な限りお答えし、これから進学する中学校を選択する際の参考としていただくことを目的に開催いたしました。

説明事項や質疑応答については裏面をご覧ください。

金杉台中学校・御滝中学校の校長先生から

説明会では、両校の校長先生から、以下のとおり、お話がありました。不明な点や心配なことがあれば、教育委員会と学校で連携しながら対応していきます。



【金杉台中学校校長】

中学校の3年間は人生を左右と思うので、生徒数の少ない環境でも、子供たちの活動を盛り立て、どのようにしたら活躍できるか、努力の大切さを伝え、可能性を伸ばせられるよう、日々実践しています。令和3年度、4年度に入学する方は御滝中学校の制服などを購入して入学してほしい。在校生にも統合を控えていることやこれから入学する生徒は異なる制服を着用することなど、繰り返し説明をして理解をさせたい。

【御滝中学校校長】

よりよい統合ができるよう、準備や取組を進めていき、校長として子供たちが安心して生活できるあたたかい学校づくりをこれまで以上に進めたい。子供たちにも統合を伝え、令和5年度から御滝中学校と金杉台中学校の生徒が一緒になって新たに歩いていくという姿勢を大切にしたい。アンケートには心配や不安な思いが寄せられたが、現在子供たちは落ち着いた学校生活を送っている。統合後の心配なことに対してもしっかりと対応したい。

～説明事項～

①「統合までの間の入学等対応策」

⇒入学の基本ルールを定めています。

②「進学先に関するアンケート集計結果」

⇒アンケートで寄せられた疑問、統合に向けての不安などに対応します。

③「令和3年度中学校入学までの今後の流れ」

⇒入学に向けた日程や今後の手続きなど。



～主な質疑応答～

コロナの感染リスクを下げるため、少人数である金杉台中学校の統合を凍結すべきでは？

疑問

コロナなど様々な理由で、金杉台中学校が存続することはありますか？

国の少人数学級の動向は注視しますが、統合の凍結は考えていません。現時点で令和5年4月統合の方針は変わりません。

質問

両校にある部活動が同じでも、やり方が違うところはようになりますか？

今後両校の顧問で調整していくことになります。

?

卒業アルバムで、金杉台中学校に在籍中の写真はどのように扱われますか？

これから学校とともに具体的な検討をしていく予定です。

回答

※説明会の資料や会議録、当日いただいた質問と回答は、ホームページに掲載しております。こちらからご覧ください。➤ ➤



★説明会に参加できなかったが詳しい説明が聞きたい方、資料を見てご意見等のある方は、下記の教育総務課までお問合せください。

◎次回の統合準備会は12月以降を予定しています。今後も統合準備会の開催に合わせて、この「統合準備会たより」を発行してまいります。また、統合に向けて教育委員会からお伝えしたい情報など、この「統合準備会たより」を活用して皆様にお知らせしてまいります。

◎統合準備会や統合に関するこれまでの経過は市ホームページにまとめています。

「金杉台中学校に関する学校規模・学校配置の適正化の検討状況」⇒⇒⇒

<https://www.city.funabashi.lg.jp/kodomo/keikaku/002/p065270.html>



<統合準備会事務局> 船橋市教育委員会 管理部 教育総務課 企画係

電話：047-436-2802 ※土日祝日を除く9時から17時まで

FAX：047-436-2808、メール：kyosomu@city.funabashi.lg.jp

報告事項等① 金杉台中学校の統合までの間の入学に関する保護者説明会の 開催結果について

補足説明資料 資料1・2について

この補足説明資料は、会議が開かれていた場合に事務局から口頭で説明する内容をまとめたものです。

資料1、資料2の概要

資料1は金杉台中学校の統合までの間の入学に関する保護者説明会の開催結果をまとめたものです。

また、資料2は、保護者説明会に出席されなかった児童生徒・保護者の方々にその説明内容などをお知らせするために作成した統合準備会たより(第3号)です。金杉台中学校の学区に関係する、金杉台小学校のほか5つの小学校及び金杉台中学校、御滝中学校の児童生徒(家庭数約3,400枚、対象児童生徒数4,030人)に11月上旬に配付しました。参考資料としてご覧ください。

「資料1 金杉台中学校の統合までの間の入学に関する保護者説明会の開催結果について」に沿って、保護者説明会について以下のとおり説明・報告いたします。

資料1:1ページ「1. 開催日時・場所 ～ 3. 参加人数」

この説明会は、令和5年4月の統合までの間の、令和3・4年度に金杉台中学校へ進学することとなる児童、つまり、現時点での小学5・6年生の児童と保護者から7月に実施した進学先アンケートに寄せられた、在学中に統合となることへの不安や心配事などに対し、現時点で可能な限りお答えし、これから進学する中学校を選択する際の参考としていただくことを目的に開催いたしました。

開催日時・場所は記載のとおりでございます。説明会は、金杉台中学校の指定学区及び選択地域に居住する周辺6校の小学5・6年生の児童と保護者(約340人)を対象とし、学校を通じて開催案内を配りました。

なお、新型コロナウイルス感染症への対策のため、開催を午前10時からと午後1時30分からの2部入れ替え制とし、事前に申し込みのあった36人の出席予定者に応じて、椅子の間隔を空けるなどの対策を取りました。当日の参加者は、児童1名を含め、計24人でした。

資料1:1～2ページ「4. 内容」について

保護者説明会での説明内容の概要は、「4. 内容」のとおりです。

決定しました「金杉台中学校の統合までの間の入学等対応策」の説明とともに、7月に行った「進学先に関するアンケート集計結果」の説明については、自由記述に寄せられた不安や疑問、ご意見等への教育委員会の考えを中心に行いました。金杉台中学校、御滝中学校の校長からも記載のとおり説明等がありました。

2ページ(3)の「令和3年度中学校入学までの今後の流れ」については、次年度の入学に向けた日程と手続きの流れをご説明しました。

資料1:2～4ページ「(4)質疑応答、【ご意見等記入用紙の主な意見等】」について

保護者説明会当日、質疑応答では、7人(午前の部3人、午後の部4人)の方から発言がありました。1つ目の子供たちへの説明については複数の方から質問がありました。これに対し、10月中に学校から説明することを調整しているとお答えしました。

なお、保護者説明会の翌日の5日に、金杉台小学校の校長から6年生に対して説明を行っていただいております。また、金杉台中学校では10月16日に校長から説明を行っていただきました。

このほか、新型コロナウイルスについてなど、記載のとおり質疑応答がありました。

保護者説明会後の令和3年度中学校入学についての状況

保護者説明会の開催後、10月に意向調査等を実施しました。その結果、12月1日時点で金杉台中学校への進学を検討している児童数が0人であり、この結果については、調査対象の児童・保護者に対し12月上旬に報告し、統合準備会の皆様にもメール等にてお知らせさせていただいております。

その後、1月には、金杉台中学校の指定学区の方から、御滝中学校への指定校変更申請を受付しました。

2月1日現在、対象児童23人のうち、21人から申請がありました。残る2人については、私立中学校への進学を希望されている方1人と、中学校入学前に転出予定の方1人と確認しております。また、選択地域にお住まいの方で、金杉台中学校を選択する方もいなかったことから、令和3年度の金杉台中学校の入学者はいない見込みとなっております。

以上

その他の検討状況について

現時点では、令和3年度に金杉台中学校に入学する生徒が0人となる見込みであることから、以下のとおり、統合準備会としての検討事項のうち、令和3年度の交流に関わる調整事項については今後の入学状況に応じて計画することとします。

また、統合に向けた進行管理として、教育委員会と金杉台中学校及び御滝中学校の間で、統合に向けた対応を進めています。

1. 教育課程の検討状況(学校行事・校外学習など)

- (1) 今後の入学状況に応じて、教育課程、教科等の年間指導計画、副教材の共通化等により、統合時に学習面において支障のないようにします。
- (2) 令和3年度の両校の生徒の交流事業は、現時点では計画はありませんが、金杉台中学校への今後の入学状況に応じて計画することといたします。

2. 部活動の検討状況について

- (1) 令和3年度の部活動の合同実施は、現時点では計画はありませんが、金杉台中学校への今後の入学状況に応じて計画することといたします。
- (2) 統合後の金杉台中学校の運動施設(体育館、運動場、武道室)を土日及び長期休業中などに、御滝中学校の部活動で使用することを教育委員会と御滝中学校で検討しています。統合後の跡地活用に関わることから、今後、財産を所管する市長部局と具体的な協議を進めます。

3. 学校と教育委員会との検討状況について

- (1) 御滝中学校へ入学する生徒が増えることを想定し、御滝中学校の普通教室の確保や給食調理器具の更新などについて教育委員会と御滝中学校において協議をし、必要な対応を進めています。
- (2) 令和3年度に金杉台中学校に入学する生徒が0人となり、学級数が2学級となる場合、定員配置基準により養護教諭と事務が配置できなくなるため、教育委員会として任用を予定しています。
- (3) 金杉台中学校から統合に向けて、課題等の提示がありましたので、関係課でその内容を確認しました。引き続き、統合に向けた諸課題について金杉台中学校、御滝中学校と教育委員会で情報共有しながら必要な準備を進めていきます。
- (4) 金杉台中学校の統合方針(令和2年3月議決)に掲げる、不登校児童生徒の支援の充実について、金杉台中学校を拠点として活用する案も含め、不登校の課題とその支援策に関し、教育委員会において検討を進めています。

令和3年度の検討事項について

統合準備会は、統合までの間(令和3・4年度)に金杉台中学校に入学する生徒に係る諸課題について、検討・調整を行い、スムーズな統合を目指すことを目的としています。現時点では、令和3年度に金杉台中学校に入学する生徒が0人となる見込みであり、令和4年度の入学見込みを早期に把握し、今後の状況に応じて、統合準備会として検討・調整事項対応することといたします。

また、統合に向けた進行管理として、教育委員会と金杉台中学校及び御滝中学校の間で、統合に向けた対応を進めます。

1. 基本的事項の確認

- (1) 令和3年度の入学と同様に、金杉台中学校の指定学区又は金杉台中学校を選択できる地域にお住いで、令和4年度に中学校入学を迎える児童は、「統合までの間の入学等対応策」に基づき、進学先を検討していただきます。
- (2) 統合の時期は令和5年4月から変更はございません。

2. 検討・調整事項

- (1) 令和4年度に入学する中学校のアンケート実施と諸課題への対応

令和4年度の入学見込みを把握するためのアンケートを令和3年7月までに実施します。その結果を踏まえ、令和4年度に金杉台中学校に入学する生徒に係る諸課題について検討・調整いたします。アンケートの結果等で、入学する生徒が0人と見込まれる場合、交流に関わる調整事項はございません。

- ① 教育課程においては、学校行事等を調整し生徒の交流事業の実施について検討・調整します。
- ② 部活動においては、両校の部活動の合同実施などでの交流を検討・調整します。
- ③ その他、学校を移る際の不安や心配事に対し、可能な限り対応策を検討します。

3. 統合に向けた進行管理

- (1) 統合に向けた諸課題の進行管理を教育委員会で行い、金杉台中学校及び御滝中学校の協力を得ながら取組を進めます。原則として直接関係者間で必要な検討・調整を進めますが、統合準備会において調整・検討すべき事項や情報共有すべき事項が生じた場合には会議を開催することといたします。

(主な諸課題)

- ・金杉台中学校の入学状況による生徒数・学級数の減少にともなう課題等へ対応
- ・御滝中学校の生徒数・学級数の増加にともなう施設整備等への対応
- ・統合時に金杉台中学校から御滝中学校に移す文書や備品等の対応
- ・統合に向けて影響を受ける生徒への相談等の支援 等